

青雲同窓会報

平成三十年を迎えて



同窓会会長

藤原康洋

日頃より、同窓会に対してご支援、ご協力を賜り厚く感謝申し上げます。平成も三十年を迎えました。昭和六十四年一月、当時の小淵さんが「平成」と書かれた紙を示した映像がテレビに流れた記憶があります。記憶に残っている出来事といえば平成に入つてすぐに消費税の導入、バブル経済の隆盛と崩壊、湾岸戦争、平成五年の大冷害・米の緊急輸入、平成七年の阪神・淡路大震災と地下鉄サリン事件、平成十年の長野冬季オリンピック。今では普通になったパソコンがワープロを押しつけて普及し始めたのも平成の初めだったような気がします。

その後の大きな出来事といえば平成十五年の花北青雲高等学校としての新たなスタート、平成十八年の花巻地域一市三町の合併、そして現在もその復興が続いている平成二十三年の東日本大震災。何か資料を見ればもつともつと様々な出来事が分かると思いますが、あらためて三十年経つたんだなと感じた今年の正月。こんなことがあったとはつきり記憶に残っている一年もあれば、何をしたともさっぱり思い浮かばないような一年もありました。一年の計は元日にあり、今年こそは何か一つでもいい面で成果を残せるようにしたいと思えます。

発行
岩手県立花北青雲高等学校
青雲同窓会
〒028-3172
岩手県花巻市石鳥谷町
北寺林11地割1825番地1
TEL 0198 (45) 3731
FAX 0198 (45) 3746
発行人
会長 藤原康洋

最近のテレビを見ていると「健康」をテーマにした番組が多いように思います。こうすれば痛みが取れる、これを食べれば病気を防げるなど身近な健康法などが紹介されています。この食品がいいとなれば、次の日、スーパーではその食品が品切れになつてしまうこともあるようで、健康に対しては関心の高い人が多いようです。そんな中、わたしは今年一月で五十五歳になりました。家族からは四捨五入すれば六十だね、とからかわれたりもしているこの頃です。これまで大きな病気をしたこともありませんでしたが、五十代に入ってから、体力の衰えもあり、若い頃と違つて無理がきかなくなつたと感じることも多くなりました。そして何よりガックリきたのが、高血圧。三年前、健康診断で何度も血圧を測り直す保健師さん。血圧計の調子が悪いのかと思いましたが、「前から血圧高いですか?」の一言。えつ、生まれ

てこのかた高血圧には縁がなく、家で血圧を計つたこともなかったため、いつ頃から高くなつたのかは全く見当もつきません。これまでは二〇前後だったはずの血圧が一六〇になっていましたが、これといつて自覚症状もありません。足音もなく忍び寄る生活習慣病。以来、毎朝血圧の薬を飲むようになりましたが、これといつて生活スタイルを変えることなく過ごしてきた昨春秋、今度は心臓の血管が詰まつているといわれ、人生初、入院しての治療を受けました。入院は五日間だけでしたが、驚いたことが一つ。夜中のナーコールの多さです。最初はこんな夜中に何の音かと思議でしたが、ほとんど鳴りやむことがないような日もありました。日中より少ない人数で対応しているようですが、それでも入院患者一人ひとりに献身的な看護師さんの姿に頭が下がりました。最近話題となつている「働き方改革」、広く全職種にわたつて考へるとなるとそう簡単なことではないようです。何にしても普通に「健康」であることのありがたさをつくづく感じた東の間の病院生活でした。

さて、現在の同窓会は、平成二十九年度の卒業生一六〇名が入会し、現在の会員数は六八五名となっています。昨年の同窓会活動では、小原和雄前校長による体育館壁への「二〇の道をゆく我等」の看板を設置しました。そして毎恒例で、六月には東京支部総会、八月には同窓会本部の総会を行つておりますが、ここ数年は本部の総会出席者より東京支部総会出席の方が多い状況が続いており、若干さびしい本部総会となつております。歳祝い世の同窓会員に直接総会の内容を出したりしてはいますが、今年は昨年以上に多くの賑やかな総会となることを祈つております。

また、高等学校再編計画により本校ビジネスコースが一学級減となる平成三十二年度がいよいよ間近迫つてきました。この計画発表された際に、何とか在の学級数を維持していただくよう、PTAと共に教委に要望はしております。これまでも本校の学業やクラブ活動での生徒の活躍と様々な話題を学校から聞やテレビなどを通じて報発信していることもあり、毎年多くの子どもたちが校を志望してきております。再編計画は計画として、今年には特に本校を目指す望者が例年以上に多くなると祈つております。

今後とも同窓会員の皆さまには同窓会活動にご理解いただき、ご支援くださいますようお願い申し上げます。

今後の学校再編問題について



花北青雲高等学校

校長 佐藤 睦朗

日頃、同窓会の皆様には、本校の教育活動にご理解とご協力をいただいておりますことに衷心より感謝申し上げます。おかげさまで、今年度の教育活動も順調に推移し、進路の方もほぼ固まってきたところであり、部活動においても新人大会でバドミントン部男女が優勝、卓球部男子が準優勝、ソフトボール部女子が第三位に入賞するなど活躍しているところがあります。また、英語スピーチコンテストやマイコンカーなどの分野でも全国大会出場するなど文武両面で成果を上げているところがあります。

さて、同窓会員皆様の最

大の関心事である高校再編問題についてであります。平成二十八年三月に公表された高校再編計画において、現在、情報工学科一学級、ビジネス情報科二学級、総合生活科一学級である本校は、平成三十二年入学者からビジネス情報科を二学級減じた三学級の学校となることが示されており、現在、花巻・北上地域の学校は九校有り、同計画において花巻南高は平成三十一年度から、北上翔南高は平成三十二年度から一学級減となつて行く予定です。また、東北本線沿いの盛岡地区の学校でも、不来方高が平成三十二年度から、盛岡工業高が平成

三十二年度から、紫波総合高校が平成三十二年度からそれぞれ一学級減じることにもなっております。

このことは、平成三十二年度の花巻地区の中学卒業生が、平成二十九年三月卒業生一九三六名から一六三名少ない一七七三名に。盛岡地区は、四五九一名から四〇〇名少ない四一九一名となる少子化がその要因であります。

本校は元来県内有数の商業高校で有り、また商業関連学科として、商業科教員や公務員等の優秀な人材を多数輩出してきました。さらに花巻地域における商業関連学科が本校のみであり、グローバル化や高度情報化が進む中で、人や物を流通させ、世界を相手に取引していく商業教育は地方創生の観点からも、ますます必要とされることであると認識しています。これまで本校のビジネス情報科を希望し、商業教育を学ぶことを志す優秀な生徒はここで商業教育を学べば良いの

でしょうか？

しかし、間違いなく少子高齢化の波は確実にやってきます。社会の変化が激しく、先行きも不透明な中で、ますますグローバル化する経済活動やボーダレス化する人の動きの中で花巻の中核を担うべき人材の育成を目指すため、しっかりと現実を見つめ、本校が将来どうあるべきかを考えるために、同窓生の皆様のご意見やご要望をお聞きし、学校再編についての方向性を考えて参りますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



チャレンジショップ



平成二十九年六月十七日(土)、青雲同窓会東京支部総会が東京都港区新橋の「うおや一丁」で開催されました。出席者は三十二名。うち新卒は五名の参加でした。

総会では、在校生の活躍、今後の岩手県高校再編計画について藤原会長からあいさつがありました。また、東京支部の佐々木支部長からは、母校の活躍を期待しているとエールをいただきました。全国で活躍している先輩方の期待を背に、在校生は学業に励んでもらいたいと感じました。

青雲同窓会東京支部総会



平成二十九年八月二十六日(土)、青雲同窓会総会が花巻市石鳥谷町の「新亀家」で開催されました。

総会では平成二十八年度の経過報告・決算報告とともに、平成二十九年年度の事業計画・予算案が提示され、すべてが承認されました。

出席者は三十五名。うち新卒は六名の参加でした。様々な年代から参加していただき、互いに親睦を深めました。

青雲同窓会総会



役員紹介

会長	藤原康洋	(昭和55度卒)
副会長	佐々木俊幸	(昭和49度卒)
副会長	中村弘樹	(昭和60度卒)
理事	多田義明	(昭和43度卒)
理事	千葉俊明	(昭和54度卒)
理事	高橋幸治	(昭和55度卒)
理事	岡田知穂	(昭和57度卒)
理事	三宮真利	(昭和57度卒)
理事	小野英二	(昭和61度卒)
理事	小原克巳	(平成元度卒)
理事	伊藤淳	(平成11度卒)

監事	伊藤秀己	(昭和58度卒)
監事	菊池司	(昭和60度卒)
監事	小原学	(平成11度卒)
顧問	阿部正介	(昭和43度卒)
顧問	高橋安之	(昭和46度卒)

東京支部

支部長	佐々木則司	(昭和49度卒)
事務局	荒瀬富姫子	(昭和47度卒)
事務局	中島清郎	(昭和62度卒)
顧問	菅原崇人	(昭和45度卒)

平成29年度 事業

〈平成29年〉

- 4月7日(金) 入学式 於 本校第一体育館
- 5月19日(金) 第1回理事会 於 本校小会議室
- 6月17日(土) 東京支部総会 於 うおや一丁新橋店(東京都港区新橋)
- 7月13日(木) 第2回理事会 於 本校青雲会館
- 8月26日(土) 定期総会 於 新亀家(花巻市石鳥谷町)
- 10月4日(水) 青雲講演会 於 本校第一体育館

演題 「こころのふるさと」
 講師 社会福祉法人 松岡福祉会理事
 特別養護老人ホーム 花巻あすかの杜 施設長
 佐々木 俊幸氏 (昭和49年度卒)

〈平成30年〉

- 1月15日(月) 第3回理事会 於 本校小会議室
- 2月28日(水) 同窓会報第38号発行
- 同窓会入会式 於 本校多目的教室
- 3月1日(木) 卒業式
- 4月上旬 会計監査

青雲講演会

「100人の先輩から」をテーマに

同窓生を講師として開催しております青雲講演会が、平成二十九年十月四日(水)、本校第一体育館で開催されました。講師は、昭和四十九年度卒業生の佐々木俊幸さんです。佐々木さんは高校卒業後、大学で経済学を学び、その後は花巻市の職員として市の発展に向けて行政に携わってきました。市役所を退職後の現在は、「社会福祉法人松園福祉会理事・花巻あすかの杜施設長」として介護現場で勤務しております。

佐々木さんは「こころのふるさと」と題し、自身がこれまで社会に出て経験したこと、勉強したことの中から、後輩に役に立ててもらいたことをたくさん話してくださいました。

花巻市役所時代は、市長の想いを具体的に表し、今

後十年間のまちづくり計画の方向性をまとめてきました。勤務していくなかで市長が三名替わりしましたが、それぞれの市長のビジョンをまとめていく中で、仕事の視野が広がったと話されました。また、花巻市の財政についても詳細に説明していただき、私たちの税金がどのように使われているか示されました。

現在の福祉の仕事に従事する前は、「経験のない福祉の現場でよいのか」等の不安があったとのことでした。しかし、花巻市の人口の32%は高齢者という現状と、地域社会に貢献できる仕事だと考え、現在の仕事に携わっているというお話をされました。介護現場のテーマとして「暮らしの継続」という事を掲げています。自宅で生活するときと

同じような生活ができるように、施設では様々な取り組みをしていることも話されました。入居者一人一人の体調の変化について全職員が把握し、チームを組んで介護に取り組んでいること等の具体例をお話しになり、生徒は仕事への取り組み方の意識の向上や、イメージが湧いてきたのではないかと感じていきます。

最後に、後輩達には「地域社会に貢献してほしい」「自分を成長させる仕事をしてほしい」など、今後進路を選択するうえでの参考になるようなお話をされました。

お忙しい中、貴重なお話をいただき、ありがとうございました。



生徒からの感想

▼「人のためになるような仕事をした」という気持ちを持つことが重要だと感じました。

▼進路選択において、地域社会に貢献できること、自分を成長させる職場に行くことが良いということを感じました。

▼今後の人生で悩んだときは、お話の中にあつた「迷ったときは原点に立ち返る」という言葉を思い出したいと思いました。遠い未来を見るだけでなく、つまづい

た時に初心に返ることで今やらなければいけないことがしつかり見えてくると思いました。

▼高校卒業後は県外への就職ですが、場所が変わっても地域への感謝の気持ち忘れず、「地域貢献」という目的意識を持って仕事に取り組んでいきたいと感じました。

▼今まで就いていた職業と全く違う職業を選択した佐々木さんのお話を聞いて、何事にもチャレンジすることが人生で大切なことだと痛感しました。



生徒からの感想

●情報工学科三年

今日は、花北商業高校時代に卒業された私たちの先輩である佐々木さんのお話を聞かせていただきました。

今回のお話を聞いて、人生の選択はやはり大切なものなのだと感じました。自分がこの先どのような人生を送ることになるかは、一度一度の自分自身の選択で決まってきました。佐々木

さんのように、「人のためになる仕事がしたい」というような気持ちを持つことが重要なのだと思います。大人になると、子供のように自分のことばかり考えるわけにはいきません。私が希望する進路は、直接人々を支えていくような仕事ではありませんが、ものづくりの面から人々の暮らしを支えられるように頑張りたいです。

また、介護のお話も印象に残っています。高齢化が進む現在は、介護施設はなくてはならないものですし、

今度は私たちが高齢者を支えていかなければいけないのだと強く感じました。自分にできることは何かということや常々考えながら生活していきたいです。

●ビジネス情報科三年

今回の青雲講演会「ころのふるさと」では、職業・進路選択において大切なことや、福祉事業の大切さなど、たくさんのお話を学ぶことができました。

自分自身のこれからの人生において、「自分を成長させる仕事」であることや、「地域社会に貢献する仕事であること」が大切であるということを改めて知ることができました。

それから、「花巻あすかの杜」では、介護に対する意識がとても高いことや、高齢者が生活しやすいように気を配って働いていることを知り、感心しました。また、岩手県ではトップ、日本では五位、世界では八位という高齢者が花巻にいることにはとても驚きました。

私はこれから社会に出て働きますが、迷ったり悩んだりすることもあると思うので、今回の講演の中で出てきたように、一度原点に戻って自分自身と向き合っていきたいと思いました。

●総合生活科三年

今回の講演会では、何事も挑戦してみることで新たな自分が見つかるかもしれないということを改めて学びました。

佐々木さんは長い間、市役所勤務されていましたが退職して老人ホームに勤めたと聞きました。市役所を退職した時は老人ホームで働くことの誘いを断っていたのですが、祖母が認知症ということもあり思い切った老人ホームでの勤務を選んだと聞きました。まったく違う分野でも心一つで何でもできるのだと思いました。私も進路は新たに学ぶ分野で不安も少しはありますが気持ちをしつかりもって取り組んでいきたいと思いました。

同窓会事務局より

住所変更の連絡にご協力を

同窓会の大きな役割として、同窓会名簿の整備作業があります。これは同窓生の皆さんへの連絡をスムーズに行うために不可欠なものです。

引越・転勤・婚姻等により登録内容に変更がございましたら、お手数ですが事務局までご連絡ください。

激励費交付式

同窓会では、部活動や各種競技会で東北大会以上に出場した際に、一人につき五千円の激励費を交付しております。今年度は六月十五日(木)本校多目的教室において、対象の生徒三十一名が同窓会長より激励費を受け取りました。同窓会長からは「より高いレベルの大会で、今までにないプレッシャーを感じると思うが、普段の活動を信じて悔いを残らないように力を出し切ってほしい」と、激励のことばをいた

いただきました。同窓会の先輩方の期待を背に今後の部活動の励みにしてほしいと思います。



同窓会員から

平成十九年度卒業

阿部 光平

十年。
私が花北青雲高校を卒業して十年が経とうとしています。

花北青雲高校に入学した理由は、花北青雲高校に公務員コースがあり、私の将来の夢だった公務員になりたいという夢が叶う可能性が高かったからです。というのは建前で、実際は電車通学と学ランが着たいため入学しました。今考えると単純な理由だったかと恥ずかしい気持ちになります。しかし、この三年間は私の人生においてかけがえのないものになりました。なぜなら、建前で言っていた公務員という職業が今の私の仕事になっているか

らです。

高校一年生の秋、進路選択のため、就職・公務員・進学コースを選択するときに私は公務員コースを選択しました。理由は、公務員コースの勉強をしていると就職コースに切り替わっても勉強についていけるというお話を聞いたからです。正直なところ、公務員になりたいという気持ちはありましたが、私のイメージの中で、公務員になるのはとても大変で難しいものという不安がありました。そこで、公務員コースを諦めても就職コースに切り替えられるという逃げ腰の気持ちで進路選択をしました。本格的に公務員コースの授業が始まったのは二年生になってからです。公務員試験は五科目からまんべんなく出題されるので、各科目を必死に勉強しました。

特に公務員試験特有の判断推理と数的推理の授業は、外部講師の方から教えていただいたり、専門学校の勉強会に参加したりしていました。

すぐに公務員コースは諦めると思っていました。先生方から公務員試験に向けての勉強方法や試験までのモチベーションの上げ方等を教わり、イメージだけで難しいと思っていた公務員という職業が現実的なものに見えてきました。そのおかげで学習方法等を見直し無理なく勉強ができたと思います。

三年生に進級してからはひたすら模試を解いていました。点数が伸び悩んでいたところは、先生方からのアドバイスや一緒にのコースにいた仲間と勉強することによって少しずつですが、手ごたえを感じました。

周りのおかげで市役所の一次試験に合格することができました。しかし、採用までには至りませんでした。そこで、そこから専門学校に行

き、岩手県職員として採用されました。

私の今の職場の話は少しだけしたいと思います。

私が今働いている場所は岩手県立宮古商業高等学校事務室の事務職員として働いています。花北青雲高校だと職員室の下の階にある部屋が事務室です。岩手県職員というと県庁にいる人たちだけだと思いがちですが、実はみなさんの身近にも岩手県職員はいるんですよ。仕事の内容は、卒業証明書等の発行や建物が破損したときの修理、みなさんが使用している物品の購入が主に行っていることです。あとは、体育祭の時は職員チームで競技と一緒に参加したり、文化祭に参加したりと高校生活の延長線にいるような感じでいつも楽しく仕事をしています。

最後になりますが、在校生のみなさんには、将来なりたい職業や憧れている職業があると思います。私がそうだったように、特に今公務員になりたいと思っ

ている人は学校の事務職員さんという素晴らしいお手になる人がいます。些細なことでも話を聞きにいられば、きっと自分自身のモチベーションも上がると思いますし、どういう仕事をしているのか実際に目で見確認した方が、将来の仕事像が見えてくると思います。また、まだ何も決めていない人はいろいろなことチャレンジしてみてください。きっかけは何でもいいです。そのチャレンジしたことが自分自身の将来に大きく関わる出来事になるかもしれません。みなさんの将来および後輩たちの活躍を楽しみにしています。写真は私の仕事風景です。毎日楽しく仕事をしています。



平成29年度民間就職・公務員・進学内定状況(1月15日現在)

Table with columns for '区分', '職種', '情報工学科', 'ビジネス情報科', '総合生活科', '種別', '公務員', '企業名・学校名', '順不同'. It contains detailed data on job placements for students in various fields like finance, manufacturing, and education.

平成29年度部活動成績

●●●全国大会出場●●●

【バドミントン部】

第68回全国高等学校バドミントン選手権大会(南東北インターハイ)

- 男子学校対抗 1回戦敗退
- 女子学校対抗 2回戦進出
- 個人対抗女子ダブルス 市原杏奈・中島陽菜
- 個人対抗女子シングルス 中島陽菜

第36回全日本ジュニア

バドミントン選手権大会

ダブルス 中島陽菜・吉村美耶

シングルス 中島陽菜

第16回日本バドミントンジュニアグランプリ

岩手代表 中島陽菜

(中学生・小学生と合同チーム)

【文芸部】
第41回全国高等学校総合文化祭
宮城大会

小倉百人一首かるた部門
岩手県チーム 菊池優羽
予選リーグ敗退

【O.A部】

第64回全国高等学校ワープロ競技大会

第74位 藤原安澄

【教科等】

第29回全国高等学校情報処理競技大会

個人の部 第74位 平野省吾

第34回全国商業高等学校スピーチコンテスト

出場 白藤菜摘

全日本きもの装いコンテスト

優勝 高橋瑠花

ジャパンマイコンカーラリー2018
全国大会

出場 木村諒司

岩手日報
平成29年6月4日

花北青雲 男女栄冠

男子6年ぶり、女子V4



【バドミントン】

男子

第68回全国高等学校バドミントン選手権大会(南東北インターハイ)が、2月25日(土)から27日(月)まで、宮城県仙台市太白区にある仙台市太白区総合体育館で開催された。本校は男子部、女子部ともに、それぞれ6年ぶり、4年ぶりに優勝を果たした。男子部は、決勝で、宮城県立大宮高等学校を3-0で破り、優勝した。女子部は、決勝で、宮城県立大宮高等学校を3-0で破り、優勝した。

チーム一丸涙の雪辱

男子部は、決勝で、宮城県立大宮高等学校を3-0で破り、優勝した。女子部は、決勝で、宮城県立大宮高等学校を3-0で破り、優勝した。

●●●東北大会出場●●●

【バドミントン部】

第46回東北高等学校バドミントン選手権大会

男子学校対抗 ベスト8

女子学校対抗 ベスト8

個人対抗男子ダブルス 菊地一希・山口 健

個人対抗女子ダブルス 佐々木詩音・安ヶ平春輝

個人対抗女子シングル 佐藤綾乃・菊川優月

市原杏奈・中島陽菜

個人対抗男子シングル 吉田侑生

個人対抗女子シングル 市原杏奈・中島陽菜

市原杏奈・中島陽菜

【卓球部】

第71回東北高等学校卓球選手権大会

男子学校対抗 個人対抗男子シングルス 熊谷洋孝・菅原真吾

個人対抗男子シングルス 熊谷洋孝・菅原真吾

【陸上競技部】

第72回東北高等学校陸上競技大会

男子400mH 阿部 響

女子走幅跳 三浦悠佳里

【珠算部】

第44回東北六県高等学校珠算・電卓競技大会

出場 大崎 藍、駒込 悠

中里 萌、高橋里奈

【文芸部】

第10回高校からた夏の東北大会

出場 菊池 優羽

【O.A部】

第55回東北六県高等学校ワープロ競技大会

団体の部 第5位

●●●県大会入賞●●●

【野球部】

第99回全国高等学校野球選手権岩手大会
ベスト16

【バドミントン部】

第69回岩手県高等学校総合体育大会バドミントン競技

男子学校対抗 優勝

女子学校対抗 優勝

個人対抗男子ダブルス 第3位 菊地一希・山口 健

第4位 佐々木詩音・安ヶ平春輝

ベスト8 三浦 大・吉田侑生

個人対抗女子ダブルス 優勝 市原杏奈・中島陽菜

第3位 佐藤綾乃・菊川優月

ベスト8 有住茉莉・柳村優歌

ベスト8 三瓶萌梨・吉村美耶

個人対抗男子シングル 第3位 吉田侑生

ベスト8 三浦 大

ベスト8 菊地一希

個人対抗女子シングル 優勝 中島陽菜

第4位 市原杏奈

ベスト8 吉村美耶

第62回岩手県種目別バドミントン選手権大会

男子ダブルス

優勝 市原杏奈

第2位 吉村美耶

花北青雲 十回サヨナラ

遠野、好機生かせず



欠場前主将へ届けた2勝目

花北青雲は、7月14日(日)に開催された、第99回全国高等学校野球選手権岩手大会(岩手大会)の第7日、岩手県立大宮高等学校と対戦した。試合は、1回裏、大宮が先制打を放つ。2回裏、青雲が同点打を放つ。3回裏、青雲が逆転打を放つ。4回裏、大宮が逆転打を放つ。5回裏、青雲が逆転打を放つ。6回裏、大宮が逆転打を放つ。7回裏、青雲が逆転打を放つ。8回裏、大宮が逆転打を放つ。9回裏、青雲が逆転打を放つ。最終的に、青雲が2勝目を挙げた。

岩手日報
平成29年7月14日

花北青雲は逆転で3回戦へ

花北青雲は、7月14日(日)に開催された、第99回全国高等学校野球選手権岩手大会(岩手大会)の第7日、岩手県立大宮高等学校と対戦した。試合は、1回裏、大宮が先制打を放つ。2回裏、青雲が同点打を放つ。3回裏、青雲が逆転打を放つ。4回裏、大宮が逆転打を放つ。5回裏、青雲が逆転打を放つ。6回裏、大宮が逆転打を放つ。7回裏、青雲が逆転打を放つ。8回裏、大宮が逆転打を放つ。9回裏、青雲が逆転打を放つ。最終的に、青雲が2勝目を挙げた。

準優勝 菊地一希・山口 健

第3位 佐々木詩音・安ヶ平春輝

ベスト8 三浦大・吉田侑生

女子ダブルス 優勝 市原杏奈・中島陽菜

岩手日報

第4位 佐藤綾乃・菊川優月
 ベスト8 有住茉莉・柳村優歌
 ベスト8 三瓶萌梨・吉村美耶
 男子シングルス
 ベスト8 吉田侑生
 ベスト8 菊地一希
 ベスト8 山口 健

女子シングルス
 優勝 中島陽菜
 準優勝 菊川優月
 第3位 市原杏奈
 第4位 吉村美耶
 ベスト8 三瓶萌梨

第57回岩手県高等学校新人バドミントン大会

男子学校対抗 優勝
 女子学校対抗 優勝
 個人対抗男子ダブルス
 優勝 菊地一希・山口 健
 第3位 安ヶ平春輝・佐々木詩音
 ベスト8 高橋隆之・伊藤 尚

個人対抗女子ダブルス
 優勝 中島陽菜・吉村美耶
 準優勝 三瓶萌梨・柳村優歌
 ベスト8 若生遥奈・伊藤徳南

個人対抗男子シングルス
 第3位 菊地一希
 第4位 山口健

個人対抗女子シングルス
 優勝 中島陽菜
 第3位 三瓶萌梨
 ベスト8 柳村優歌
 ベスト8 若生遥奈

第62回岩手県総合バドミントン選手権大会

男子ダブルス
 ベスト8 菊地一希・山口 健
 ベスト8 安ヶ平春輝・佐々木詩音
 女子ダブルス
 第3位 中島陽菜・吉村美耶
 第4位 佐々木良幸・長岡朱里
 (花巻市)

男子シングルス
 ベスト8 吉田侑生
 女子シングルス
 優勝 中島陽菜
 ベスト8 佐藤綾乃

【卓球部】

第69回岩手県高等学校総合体育大会卓球競技
 男子学校対抗 準優勝
 個人対抗男子ダブルス
 ベスト8 熊谷洋孝・菅原真吾

平成29年度岩手県高等学校新人卓球大会
 男子学校対抗 準優勝
【ソフトボール部】
 岩手県選抜大会
 優勝(花巻東と同時優勝)
 第69回岩手県高等学校総合体育大会
 ベスト8
 第57回岩手県高等学校新人ソフトボール大会
 第3位

【男子サッカー部】
 高宮宮杯U-18サッカーリーグ2017 LEAGUE D3 中部年間順位 3位

【女子サッカー部】
 第69回岩手県高等学校総合体育大会女子サッカー競技 第3位
 第52回岩手県高等学校新人サッカー大会 第3位

【陸上競技部】

平成29年度春季陸上競技大会
 女子走幅跳
 第4位 三浦悠佳里

第69回岩手県高等学校総合体育大会
 1部男子400mH
 第3位 阿部 響

1部男子三段跳
 第8位 千葉雄平
 1部女子走幅跳
 第6位 三浦悠佳里
 1部女子三段跳
 第7位 三浦悠佳里

岩手県陸上競技選手権大会
 1部女子走幅跳
 第5位 三浦悠佳里
 1部女子三段跳
 第7位 三浦悠佳里
 2部男子800m
 第4位 晴山慶祐

【珠算部】

平成29年度岩手県高等学校珠算・電卓競技大会
 珠算団体総合競技 第2位
 電卓団体総合競技 第3位
 珠算伝票算競技個人
 第3位 齋藤晴香

平成29年度岩手県高等学校新人珠算・電卓競技大会
 珠算団体総合競技 第2位
 大崎 藍、駒込 悠、中里 萌
 電卓個人総合競技
 第10位 高橋里奈

【文芸部】

第24回岩手県高等学校かるた選手権大会
 A級 第6位 菊池優羽
 B級 第3位 大泉 櫻

平成29年度岩手県高校生文芸コンクール
 詩部門
 優秀賞 川辺眞子
 優良賞 菊池優羽
 児童文学部門
 優良賞 田面山沙希
 入選 村田 萌
 戯曲部門
 優良賞 堀江光結
 入選 村田 萌

入選 川村純華
 部誌部門
 優良賞 軌 第三十八号
 第40回岩手県高等学校総合文化祭かるた大会
 第24回岩手県高校かるた大会
 B級 優勝 松田愛香
 第2位 高橋那央
 第3位 照井結奈

第15回末の松山杯争奪北東北中・高校生かるた大会
 B級 優勝 菊池優羽(昇級)

【吹奏楽部】

全日本吹奏楽コンクール
 第55回岩手県大会
 高等学校の部 銀賞

平成29年度岩手県高等学校ワイプ口競技大会
 団体の部 第3位
 個人の部 第4位 藤原安澄
 第5位 城戸 翔
 第6位 高橋佳奈
 正賞 白藤菜摘
 正賞 島山万里奈

平成29年度岩手県高等学校新人ワイプ口競技大会
 団体の部 第2位
 個人の部 第2位 城戸 翔
 第4位 幾田美聖
 第6位 主濱 廉
 正賞 佐藤聖悟

【情報工学科】

平成29年度高校生ものづくりコンテスト岩手県大会
 電子回路組立部門
 第5位 内村由樹

岩手県高等学校簿記コンクール大会
 団体の部 第5位
 岩手県高等学校情報処理競技大会
 団体の部 第3位
 個人の部 第8位 平野省吾
 全国商業高等学校協会主催
 第134回珠算・電卓実務検定試験
 1級 満点受賞者 高橋真歩

【総合生活科】

岩手県高等学校家庭クラブ連盟研究発表大会
 学校家庭クラブの部
 優秀賞 伊藤楓花 他5名

「生きがい繋ぐプロジェクト」のメイドとワイ体操の交流からホームプロジェクトの部
 優秀賞 岩角つき子
 「ムダなし！手間なし！余りなし！暮らしを良くするために」
 平成29年度牛乳・乳製品利用料コンクール岩手県大会
 優良賞 朝倉杏奈
 「ミルポテ・じゃじゃおや」
 第8回高校生調理・製菓コンテスト(チヨリコン)
 製菓の部
 優秀賞(第2位) 高橋みのり
 調理の部
 盛岡ガス青い炎賞(第4位) 石ヶ森吐
 外食産業賞(第6位) 伊藤意

お知らせ
 同窓会では毎年、卒業記念会として卒業証書ホルダーを贈っております。

卒業証書
 岩手県立花北青雲高等学校